



友われら 77



甲府市立北中学校
学校だより NO. 3
令和 6 年 6 月 20 日発行
文責 保坂 伸

1 年生林間学校に行ってきました



1 学年は 5 月 19, 20 日の 2 日間、ハケ岳山麓の清里にある、山梨県立ハケ岳少年自然の家で林間学校を実施しました。学年学



級の連帯感を高め、協力することの大切さを学び、適切な集団



づくりの場とすることが目的です。入学してまだ 2 か月の仲間ですが、係ごとに目標を掲げ、この行事をとおして仲良くなれたり、絆を深めたりできたようです。心配された天候も 1 日目の夜間に雨が降った程度で日程に影響はなく、充実した 2 日間となりました。



1 日目は滝沢牧場で乗馬などの体験を行い、自然の家に到着後は、夕食、キャンドルセレモニーなどを楽しみました。2 日目は、スコアオリエンテーリング、野外炊飯でカレーを作るなど、班で協力しながら取り組む様子が見られ、親交が深まったようです。中学校に入学して初め



ての大きな行事でしたが、学年学友会のリーダーを中心に、自ら考え行動し、学年の団結力が高まるなど成果をあげた 2 日間でした。

学友会年間スローガンは「無限大」

～学友会総会開催～

5 月 29 日令和 6 年度学友会総会が開催されました。昨年度に続き体育館に一堂に会して討議を行いました。今年度学友会の運営スローガンは「無限大」となりました。



相川会長から「昨年度はコロナ禍が終わり制限のない活動が再開されたことから新しい時代に合う取組を創り出すことを目指した「創造」というスローガンにしました。今年度は創り出した希望を北中生全員で共有し「無限大」の輪のように繋げていきたい」と提案がありました。その後、各学級から活発に意見が発表され、質問や意見などに対する答弁が



ありました。スローガンの「無限大」は昨年の「創造」に続き、新しい取組を広げていこう、高めていこうという意図があるスローガンだと感心しました。出された意見もよく考えられたものが多く、こ

のスローガンの下、いろいろな意見が出され生徒の皆さんの学校生活改善への意欲が高まっている様子も分かりました。また、昨年に続き、生徒が一人一台端末の Chromebook を体育館に持ち込み、本部からの提案は電子ファイルで閲覧するようにしていました。紙を無駄にしない SDGs の取組も継続しています。



スローガンのように、議論自体もこの討議を出発点として高め、生徒全員で協力し、素晴らしい学友会活動を実現していくことを期待しています。

学区内一斉引取訓練実施

6 月 3 日(一部 4 日)、北中学区における小中一斉の引取訓練を避難訓練と併せて実施しました。今回の避難訓練は震度 5 弱以上の地震を想定し、グラウンドに避難した後、保護者の引き取りを行うという内容でした。生徒は真剣な態度でスムーズに避難しました。



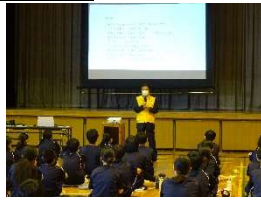
講評では、校長から、訓練は人間が思い込み(バイアス)に囚われないよう、様々な形で実施することが大切であることや家庭でも意識して、保護者と防災について話合うこと等について話をしました。その後の保護者等による引き取りもほぼ 1 時間以内に完了しました。お忙しい中、ご対応いただき誠にありがとうございました。



自然災害などの際には、河川の氾濫や土砂崩れなどで思わぬ被害が出る可能性もあります。ご家庭でもぜひ話題にさせていただきこの機会を災害からの避難を見直す機会にさせていただければと思います。

人権教室を開催しました

5月27日午後、山梨県人権擁護委員連合会、甲府人権擁護委員協議会の皆様のご協力により、人権教室を開催させていただきました。本校では2年生が参加し、貴重なお話を伺うことができました。



当日は保坂公雄県連合会長様を始め、11名もの委員の皆様がお越しくださり、熱心に人権に関するお話をいただきました。委員の皆様は、元県庁職員や元教員、現役会社員の方など、それぞれお忙しい中ですが、ボランティアで社会のためにご活動されていらっしゃる方々ということです。近年は社会的な差別だけでなく性差別などが問題になっていますが、他の地域の学校では、深刻ないじめなどによる事件なども起こっています。「人権」を大切にすることは、決して遠い世界の話ではなく、自分事として受け止めることが大切であり、生徒の皆さんは真剣にお話を聞き、自分なりの考えをもっていました。



中でも、いじめに関しては、昨年度から甲府市少年議会の発案により市内小中学校で学区ごとに「いじめ撲滅会議」が合同開催されるなど、従来以上の取組が進められるようになっていきます。

本校でも、いじめ防止基本方針（毎年更新、HP参照）に基づき、防止対策、早期発見につとめていますが、今後もあらゆる機会をとらえて、生徒の皆さんが安心・安全な学校生活を送れるよう努力を続けたいと考えております。

今回の人権教室は、防止対策の一環として人権擁護委員の皆様のご芳志によって実施することができました。心より感謝を申し上げます。

〔生徒の感想〕

・人権は人間を守ってくれるものだが、気にもせず生活していると加害者にも被害者にもなってしまう恐怖があると思った。侵害に気づいていない場合でも、その人の心は傷つけられたことに慣れ、自信や肯定感など多くの前向きな気持ちが知らぬ間に失われていってしまうのではないかと考えた。また侵害した方は、加害者だということに気づかず生活を送り、考え方や発言が定着してトゲのあるようなものになってしまうと思うと、双方にとって悲しく大切にしなければならない基準がくるってしまうのではないかと思う。

そのため、自分の行動や発言には十分に意識を向け生きていかないといけないと思った。

（Aさん）

- ・今回の授業を受ける前は、悪口を言っている人を見ても止める勇気などありませんでした。しかし、今回話を聞いて、先生の言うことは私もできるなど感じ、悪口を言っている人やいじめられている人を見たら「言った方がいいのかな?」「私の勘違いかも」と迷わずに先生に言いたいと感じました。私も、いじめをしている人に注意をしたいと思いました。また、いじめられてもすぐには折れないメンタルにできるようにしたいと思いました。貴重な話をありがとうございました。（Sさん）
- ・私は、あまり人権について深く考えたことがなくて、人権は自分が気づかないうちにどんどん失っていくというのは、とても怖いことだと思いました。私自身もSNSを使って情報収集や情報共有をしているので、そこから加害者や被害者になってしまう可能性があるというは、とても怖いと思いました。このたびは、みなさんの貴重な時間をさいて来てくださり、本当にありがとうございました。（Iさん）
- ・今日は貴重な経験をありがとうございました。長所と短所の部分で、短所の考え方を変えれば長所になるという所は、とてもグッときました。そう思うと自分には「長所があるんだ!」と分かりました。そして、なおちゃん（講師の方がご自身をそう呼んでほしいとお話されました）が話していた、気づいたら人権が減っていたというところ、ペットボトルキャップで考えてみたら少し怖いと思ったけど人生に活かしていきます。（Yさん）
- ・人権というものは気づかないうちに減るんだなと思いました。いつも親に言われたとおりしか動かなかったのが、これからは、自分の意見も言うようにしていきたいです。元々肌の色などの差別はしてはなかったけど、これからも意識していきたいです。友だちが他人の悪口、いじめをしても相手に合わせない。いろいろな権利を知る事ができてよかった。人権教室の話聞いて意外と身近に感じるのだと感じ、これからの生活でも意識していきたいと強く思いました。（Eさん）



北中学校HPは、このQRコードからご覧になれます。学校だより「友われら77」は「校長室より」からご覧ください。